

空手着の定義

空手着は、空手道を修練する者の魂と品格を表現するものであり、作為が無く他者に対してさわやかな印象を与え、機能的かつ清潔なものとし、組手・形共通とする。

正しい空手着(上着・ズボン)寸法等について

1. 上衣の長さは臀部を覆うほどとし、膝上から13cm程度の空きがあるものとする。
2. 上衣の袖の空きは、袖先部分で袖と腕の間が4~10cmなければならない。
3. 上衣の袖の長さは腕を下げた状態で、肘から手首までの3分の2以上とし最長手首までとする。
4. ズボンの空きは、裾先部分でズボンと脚の間が8~15cmなければならない。
5. ズボンの長さは、下腿(脛)の3分の2を覆う程とし、踝が隠れてはならない。
6. 帯の長さは、正結びの後左右25cm以内とする。

